

# 地域の駅から世界の大歩危駅へ



## 徳島県三好市 JR大歩危駅活性化協議会

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

### 1 社会資本の概要

徳島県三好市の大歩危（おおぼけ）地区は、四国の中央に位置し、美しい渓谷景観が楽しめる吉野川や西日本第二の高峰「剣山」、平家の落人伝説が残る「祖谷（いや）」、日本三大奇矯「祖谷のかずら橋」など、豊かな自然や歴史文化が残る秘境の地として

国内外から多くの観光客が訪れています。

活動の舞台である「大歩危駅」は、JR土讃線における徳島県内最後の駅であり、大歩危地区の主要な観光地の玄関口として、地域のシンボリックな存在として広く親しまれています。



JR大歩危駅



駅のホームと吉野川

### 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

近年の少子高齢化や人口流出などにより、大歩危駅周辺の集落活動が低下している中、平成22年10月に駅が無人化されました。

そこで、更なる地域経済の低下や観光客への影響に危機感を持った地域住民が大歩危駅に賑わいを取り戻そうと立ち上がり、「JR大歩危駅活性化協議会」を設立しました。

活動では、地域の方々が気軽に参加して食事を取

りながら意見交換する「キッチン会議」で様々なアイデアを出し合い、駅周辺の清掃活動や桜の苗の植樹、桜のライトアップ、駅員室の休憩所兼観光案内所への改装、4か国語表記の手づくり案内看板の設置、駅ホームでの観光客のお出迎えなどの駅利用者や地域の方々に喜んでもらえるような活動を行っています。



JR大歩危駅活性化協議会の取組が生み出される「キッチン会議」



多くの方々が来場する桜のライトアップ



ホラ貝の演奏や揃いの衣装で駅に到着する観光客を歓迎

### 3 活動の成果や波及効果等

協議会の活動により、大歩危駅は、利用された方がホッと安心して休息ができ、国内外の観光客の方や地元の方みんなが交流できる憩いの場所になりました。

無人化された平成22年の駅利用者数は、年間約2万5千人でしたが、平成30年は、約4万人の方が利用するまでに増加しており、協議会の活動が駅の利便性の向上や地域の活性化に寄与しています。

また、大歩危地区はここ数年、観光雑誌などで紹介され、大歩危駅には様々な国からの観光客が急増しており、大歩危駅を通じて世界へ交流の輪が広がっています。



交流の場所に生まれ変わった駅舎



現在は多くの観光客で賑わっている



大歩危駅を訪れる外国人観光客を協議会の会員がお出迎え



大歩危駅を訪れる外国人観光客を協議会の会員がお出迎え

### 喜びの声



手づくり郷土賞受賞記念発表会  
～グランプリ2018～

#### 受賞者

JR大歩危駅活性化協議会  
会長 山口 頼明

#### コメント

地域の課題を自分事として捉え、一人一人が主体的に行動し、日々地道な活動を積み重ねてまいりました。その結果、このような名誉な賞の受賞に繋がりましたことは、感慨無量です。また、この地域にお越し頂いている全ての方々にも感謝申し上げます。この賞を励みに、更に魅力的な地域となれるよう活動を継続し、次世代へと繋いでまいります。

#### 活動の内容

- ・ 駅構内や駅周辺の清掃活動
- ・ 桜の苗の植樹、桜のライトアップ
- ・ 駅舎の改装、外国語案内看板の設置
- ・ 駅ホームで観光客のお出迎え など

#### 活動の経緯

- 平成22年 JR大歩危駅が無人化協議会設立（活動開始）
- 平成25年 駅舎改装
- 以後、大歩危駅周辺へ拡大しながら活動を継続中

#### 所在地

徳島県三好市西祖谷山村徳善西6

#### 活動主体及び連絡先

JR大歩危駅活性化協議会  
(0883-84-1111 ぼけマート内)

#### 対象となる社会資本

JR大歩危駅  
※管理者：四国旅客鉄道株式会社



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編